

第71回全国学生書道展覧会作品募集要項

一般社団法人日本書道院は、創立以来 70 年以上に亘り、学生書写育成普及のために努力してまいりました。東京都美術館で開催する「日本書道院展」との同時開催は大変好評を得ております。幼児・小・中学生・高校生が書道に親しみ充実した書く文化毛筆学習に取り組む絶好の機会となり、生涯学習の一環・書道展として行っています。本展覧会に出品された作品は日本書道院展所属の審査員が公平・公正な審査を行い、入賞作品のすべてを展覧いたします。

なお、昨年から半紙部門を新設いたしました。全国の書道教育に携わる諸先生のご賛同とご協力を切にお願いいたします。

応募規定

【応募資格】 幼児・小学生・中学生・高校生とし、学校または塾にて取りまとめて支部として出品する。(出品単位は1支部5点以上とし、4点以下の出品は学生展運営委員に於いて取り扱う) ※高校生は中学生以下の出品単位に含めず、出品一覧表等も別記入として出品単位とする。

【出品形式及寸法】 **中学生以下** (本展) 横26cm 縦78cm 縦作品 表装不要。
(審査後に一括して表装する)

(K展) **幼児・小中学生の半紙部門を設ける。**
※軸装して展示。本展とK展へ2点出品も可。

高校生 (本展) 半切サイズ縦作品 表装不要。
(審査後に一括して表装する)

(K展) **半紙サイズ** 本展とK展へ2点出品も可。

* K展…基本確立・綺麗・可愛い・子供等の頭文字「K」のK展です。

【出品料】 本展 4,000円 K展 3,000円
高校生(本展) 5,500円(展示・軸装代を含む)

【応募点数】 本展もK展もそれぞれ出品できる。

【作品内容】 **幼児・小学生** 書体は楷書
◆課題 自由 本展は出品時期が各都道府県の教育委員会等行う書初めの時期と重なることから、同様の内容でも差し支えない。なお、幼児及び小学校低学年はひらがな2～3文字が相応しい。K展も同様とする。競書誌課題も可

中学生 書体は楷書または行書
◆課題 自由 出品時期が各都道府県の教育委員会等で行う書初めの時期と重なることから、同様の内容でも差し支えない。本展・K展上記同様

高校生 書体自由・臨書も歓迎
◆課題 自由 出品時期が各都道府県の教育委員会等で行う書初めの時期と重なることから、同様の内容でも差し支えない。本展・K展上記同様

(注)作品の紙面左上部(氏名を書く位置の上方)に小一・小二・中一の如く学年(ただし幼児は「よう」と氏名を書くこと。(幼児以外の学年は名前だけでは規定違反となる)
高校生は作品内容により名と雅印のみでも差し支えない。(氏名を展示時に本院で表示する)
※出品学年は令和4年3月現在での学年とする。(展示する4月の新学年ではない)

【作品搬入】 令和4年2月1日(火)までに日本書道院に關係書類を添えて搬入のこと。
※2月1日に持ち込む場合は午前10時～正午(事務局は土日祝は休み)
※郵送等の場合は1月28日(金)までに作品・關係書類と出品料を必着で送付のこと。

【出品料】 郵便振替による送金とすること。

【鑑別審査】 令和4年2月23日(水・祝)日本書道院審査員があたる。審査は学年毎に行う。
高校生は3学年を合わせて審査する。 ※K展は別審査とする。

【褒賞】 日本書道院賞・全日本書道連盟賞・毎日新聞社賞・推薦・特選・金賞・銀賞・優待生に対して、特別賞・優秀賞。
表彰は出品時の学年で行い、賞状等も出品時の学年で執り行う。
特に優秀な作品に対して文部科学大臣賞を設ける。
※K展は大賞・特選・金賞・銀賞とする。
また、埼玉県在住・在学者(埼玉県規定による)からの作品で特に優秀な作品には埼玉県知事賞を設ける。会長賞を文部科学大臣賞と埼玉県知事賞と併せて選考する。

【入賞発表】 3月上旬出品団体に直接通知する。

【展示】 応募作品は軸装し、令和4年4月2日(土)～4月8日(金)の間、上野公園内の東京都美術館に展示する。
入場時間 午前9時30分～午後5時(閉館午後5時30分)
※最終日の入場 午後2時30分(午後3時撤去) **※休館日4月4日(月)**

【表彰式】 令和4年4月3日(日)午前10時～午前11時30分
ホテルラングウッド(日暮里駅南口)で行う。
※表彰対象者は入賞発表と併せて出品団体に通知する。
※会場から東京都美術館まではJR日暮里駅から上野駅まで2駅。
また徒歩でも15分程度。(入賞時に別途通知)

【発送】 賞状・賞品等は4月下旬を目途に発送する。(料金は受取人着払い)

【附記】

1. 応募規定に反したものは審査の対象としない。
2. 本規定に明記していない事項は、日本書道院理事会又は学生展運営委員会において処理する。
3. 作品は不可抗力の災害等に対してその責を負わない。

◎水性の墨(洗濯及び水洗いで落ちる墨液)は使用不可。

応募の方法、手続きについて

【出品一覧表】

出品一覧表は原票を一部提出のこと。本展とK展は別用紙とする。
(出品団体でコピーを取り、控えとする) 高校生については別に専用の出品一覧表を使用し、中学生以下とは区別すること。

※第70回記念展に出品している支部は、出品者の学年等を更新した出品一覧及び出品票を送付するので利用のこと。

【出品票】

出品票には所定の事項を明記の上、作品の左下隅に糊代を大きく取らずに、きれいにはがれないよう必ず糊(スティックのりは不可)を使用してしっかり貼付のこと。

※受付番号は記入不用。

※幼・小・中の区別を必ず○で囲むこと。(高校生は専用用紙となる)

※出品票は切り取り線にそって切り離して使用すること。

※応募作品の処理並びに入選・入賞等事務処理は全て出品一覧表と出品票をもとにして行うので出品者名、塾名等は正確に記入すること。

※高校生で本展覧会のほか第71回日本書道院展のU23への出品は差し支えない。

※中学生ですでに「日本書道」誌で特待生であり、月例競書において一般部への出品をしている場合は、高校部にチャレンジしても差し支えない。

※出品の際に高校生の作品は、中学生以下と区別がつく状態であれば郵送など同封でも差し支えない。(出品料については間違いのないように注意し、郵便振替で振込むこと)

◎出品一覧表・出品票の出品者氏名は漢字で記入する。

(「ふりがな」を忘れずに)

◎学年の誤記入は審査の際に、誤った学年で処理することになるのでくれぐれも注意すること。※出品票と作品の学年が一致していない場合には作品の記載の方を優先する。

【送付方法】

学校・書塾で必ずとりまとめて送付すること。宛名には「学生展出品」と赤字で記入のこと。

【送付先】

〒110-0002 東京都台東区上野桜木1-12-2
「日本書道院学生展」係

【その他】

応募規定・出品一覧表は必要な枚数を日本書道院事務局まで請求すること。
(高校と中学生以下は別々に請求)

中学生以下には課題の参考例を別表に提示する。実物大の手本も作成するので、必要な場合は日本書道院事務局まで申し込むこと。(1枚200円)

令和3年10月

後援 文化庁・東京都・埼玉県・毎日新聞社・

一般財団法人毎日書道会・公益社団法人全日本書道連盟

一般社団法人 日本書道院

〒110-0002 東京都台東区上野桜木1-12-2

TEL 03-3821-1246

別表 課題の参考例 用紙サイズ(横26cm×縦78cm)は厳守のこと

小 四	小 三	小 二	小 一	幼 児
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小四 氏名</p> <p>友だち</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小三 氏名</p> <p>けやき</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小二 氏名</p> <p>さくら</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小一 氏名</p> <p>ことり</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>よう 氏名</p> <p>にじ</p> </div>
中 三	中 二	中 一	小 六	小 五
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中三 氏名</p> <p>秩父連峰</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中二 氏名</p> <p>伝統の美</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中一 氏名</p> <p>真の友情</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小六 氏名</p> <p>希望の春</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小五 氏名</p> <p>大空の旅</p> </div>

※上の「参考課題手本」は日本書道院で独自に作成しています。各都道府県の課題で出品しても差し支えありません。

※K展(半紙作品)の参考手本は作成しない。競書課題でも差し支えない。